

令和2年11月20日

第1回伊集院中学校部活動キャプテン会

～ この学年、この学校を輝かせるために ～

1 あるべき姿

- (1) してみせて、言うて聴かせて、させてみる
そうでなければ、「人」は動かじ
- (2) A・B・C・D
- (3) あいさつ、そうじ、授業態度 等、他の生徒の手本に
- (4) 今日の校長先生の話
「人のふり見てわがふり直せ」⇒「
※ 他人のよくない言行を今後の自分の生き方に生かす。」

2 他の生徒や先生方、地域の人から応援されるチームになる。

- (1) 学校に貢献するチーム、「人」となる。
- (2) 地域に貢献できるチーム、「人」となる。

ボランティア活動

3 思いをめぐらす人となる。

- (1) まず、顧問の先生に
- (2) そして、いつも応援し、支えてくれる親に
- (3) 共に活動している仲間に
- (4) 練習している場所に、道具に
- (5) そして、何よりも続けられる自分の体や心に
「感謝」を言葉“ありがとう”と態度で示す。

4 これからの部活動について

※ 部活動としてあり続けるために・・・

思いをめぐらし、
自ら考え、判断し
他者と協働できる
たくましい生徒

令和2年7月27日

夏休みに向けての部活動生指導

1 今日の指導目的

「よりよい部活動の方向性について」
この夏休みにすべきこと、してはならないこと

2 学校教育目標のとおり

- (1) 思いをめぐらし
- (2) 自ら考え、判断し、
- (3) 他者と協働できる
- (4) たくましい生徒の育成

<より具体的な指導>

3 先輩として

3年生がいなくなった今、2年生が中心となる。
2年生として、まずは「してみせる」こと
何を？・・・一人の先輩いや部活動をする部員として
「まずは、あいさつ」「思いやり＝後輩を気遣う姿勢」

4 後輩として

2年生の姿学び、2年生气持ちに「思いをめぐらす」

5 そして、何より大切なことは顧問への感謝の気持ち

この夏休みにあなたたちのために共に過ごす時間を作ってく
さっている。その理由は、部活動をとおして心身共に成長し、た
くましい人になってほしいと願うから。

その恩返しは、これから先の学校生活である。

「〇〇部」はいいね。よく頑張っているね。

それが一番の恩返し・・・

もし、「◎◎部」がよくない、と悩むのであれば、

部活動をしない方がまし。その時は、校長先生が止めます。活
動する意味がないからです。

※ この夏、困ったことがあったら、必ず顧問に連絡すること！